

2013年2月号 小島薬局漢方堂

パンダ通信

ご愛顧ありがとうございます!!

今月の一言

平素は小島薬局をご愛顧いただき、ありがとうございます。

2月は暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きます。毎年この時期になると、インフルエンザが猛威を振ります。冬場の風邪は、大気の乾燥で鼻や喉の粘膜が傷つけられ抵抗力が落ちているので、一度ひくと重くて長引きやすのが特徴です。また「カゼは万病のもと」というようにこじらせると、他の病気もひきおこしかねません。漢方薬で予防しましょう!

★風邪の予防には板藍茶や板藍のど飴・衛益顆粒が効果的です。喉の異変が気になったら、直ぐに板藍のど飴を舐めましょう。また、インフルエンザの初期症状が見られたら、涼解楽（天津感冒片）と板藍茶をすぐに飲みましょう!

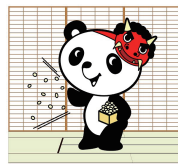
★「カゼは万病のもと」といわれますが、同時に「冷えは万病のもと」ともいわれます。

冷えの改善に「温灸器」が大変好評です。ぜひお店でお試してください。

2月は店主・小島 晃が2回もテレビ出演します! —

2月9日（土）の「情報ザウルス」（静岡朝日テレビ・11:30～11:45）に不妊症のお話で出演します。

2月26日（火）の「とびっきり静岡」（静岡朝日テレビ・18:40～18:59）に元気な企業紹介のコーナーに出演します。お時間がある方は、ぜひご覧ください!



花粉が飛び散る時期ですね。 対策していますか?

いよいよ花粉症シーズンも本格化。

今年の静岡県は、去年よりも花粉の飛散量が多いようです。

去年まで花粉症ではなかった方も
ストレスや疲れから突然発症することもありますので、
十分に気をつけましょう。

花粉症対策で大切なのは「予防!!」

花粉が猛威をふるってからでは治しにくくなります。シーズン前から予防することで、例年よりも症状を軽くし、発症をおさえることができます。

中医学を上手に使う、今年花粉シーズンを乗り切りましょう!!

中医学では、ウイルスや細菌、花粉など、体に侵入し、害を与えるものを「外邪」といいますが、この外邪から、体を防衛するエアーカーテンのような見えないバリアの役目をしているのが「衛気（えき）」です。

「衛気」を充実させ、バリア力を高めるには1～2ヶ月必要です。

漢方では「衛益顆粒」や「松寿仙」を使います。

これらは、バリア力を高める効果があるので、免疫機能が改善されて、アレルギー反応が起こりにくくなり、花粉症の症状を軽くし、発症を予防してくれます。シーズンの1～2ヶ月前から、お飲み下さい!!

それでもなってしまうたら・・・

バリア力を高める「衛益顆粒」「松寿仙」を中心にして、涙目・くしゃみ・水づばい鼻水・水づばい痰・鼻づまりなどの症状には、呼吸器を温める作用がある「小青竜湯」を併用します。

逆に、体が熱つづく、目・鼻・喉の粘膜が赤く腫れ、鼻水も黄色く粘ついている症状には、アレルギーによる炎症などの熱をさます「天津感冒片（涼解楽）」や「香菊花」を使用します。

眠たくなることなく、花粉症を乗り切ることができます!!

花粉症でお悩みのお客様、お気軽にご相談下さいね!

2月の松寿仙キャンペーン

松寿仙 12本入りお買い上げのお客様に
長野県産のコシヒカリ 1kg
もしくは、あったか生姜湯をさしあげます!!

数に限りがありますので、
是非この機会に
お早めにお買い求め下さい!!

